

【基本方針】

「ご利用者がまた来たいと思うようなデイサービスを提供する」

【年間目標】

- ① 感染症対策を徹底し、ご利用者の安全を守る
- ② 事故数を低減し、ご利用者の安全を守る
- ③ ご利用者個別のニーズに応えられるようなプログラムを立案、提供する
- ④ 稼働率 77.0%以上を目指す
- ⑤ 職員が接遇技術や介護技術を互いに高めあい、共に成長していく職場を作る

【実践報告】

- ① 感染症対策を徹底し、ご利用者の安全を守る
 - ・基本の感染症対策を徹底し、事業所内でのコロナウイルス感染拡大を予防できた
 - ・ご利用者の声、表情、体温などから体調の変化を察し、状態把握に努めた。また、職員から発熱等体調不良の訴えがあった際は、コロナウイルス感染の有無を確認し、職員が感染拡大の発生源にならないよう徹底した。
 - ・事業所周辺の感染状況等を職員間で共有する事に努めた。感染症に対する職員の意識やスキルを高め、事業所への感染予防に努めた
- ② 事故数を低減し、ご利用者の安全を守る
 - ・事故、ヒヤリハットが発生した際は、即時に再発防止策を検討、職員への情報共有を図った。
 - ・毎月の寮母会議で事故、ヒヤリハットの見直しをおこなった。また、事故の経過を職員間で共有し、再発防止に努めた
 - ・気づきメモには各職員が記入しているものの、改善までに時間差が生じてしまう事が度々あった。即時性を図る為、気づいた事は些細な内容でも直ぐに相談員へ報告するよう職員に申し送りを行った。
- ③ ご利用者個別のニーズに応えられるようなプログラムを立案、提供する
 - ・各月の担当がご利用者のニーズを把握し、ご利用者の状況に合わせたプログラムを立案、寮母会議にて職員と共有し意見交換を行うことで、ご利用者本位のレクや行事を行うことができた
 - ・ケースファイルに記載されている内容の情報更新に努めた。また、職員が見やすくするためケース内の書類を整理した
- ④ 稼働率 77.0%以上を目指す
 - ・R4 年 9 月から職員退職が相次ぎ、新規ご利用者の受け入れを一時的に中断せざるを得ない状況に陥った。人員を補充し、R4 年 12 月より順次受け入れを再開したが目標稼働の到達には至らなかった。今年度の稼働は 63.3%であった
 - ・ご利用者から、自身の内情や困り事等相談して頂く機会が以前より増えた。また、ご家族からの要望は出来る限り受け、様々なご家族のニーズ察知することで、継続

的にご利用して頂いている

- ・ご利用者に関して一番情報を持っているように心がけ、担当ケアマネジャーへご利用者の些細な変化、情報を提供できた
- ・これまでケアマネジャーからの問い合わせの多かった送迎ルートエリアと空席が一目でわかるチラシを作製し、デイ有瀬の紹介チラシと共に2週間に1回FAXを中心に営業活動を行った

⑤ 職員同士が互いに接遇技術や介護技術の質を高め合っていく

- ・介護未経験の職員が増えたことから、日常の業務内で個々の介護スキルを確認し、毎月の寮母会議内で理解を深める為の研修(排泄・入浴・食事介助)を実施した。
- ・下期の虐待予防研修では、適切な言葉遣いとは何かをテーマに挙げ、自身の言葉遣いやスピーチロックについて見直しを図った。丁寧語を基本に、利用者との距離を適切に保つよう心掛け、統一したサービス提供を図れるように努めた
- ・介護福祉士資格保有者が相次いだ為、サービス提供体制強化加算Ⅲ取得は出来なかった。

【神戸市への報告を必要とした事故】

報告件数：0件

【苦情件数】

苦情件数：0件